

**ブライダル大手「ノバレーゼ」、和歌山県初進出
紀州徳川家ゆかり、400年以上の歴史ある日本庭園に
完全貸し切り型の結婚式場 開業
敷地内の旧料亭「あおい茶寮」の日本家屋は待合室に活用**

ブライダル市場はコロナ禍の低迷から脱却、“新たな結婚式のスタイル”が定着

ブライダル大手の(株)ノバレーゼ(本社:東京都中央区、荻野洋基社長、資本金:100百万円)は、和歌山県に初進出し、紀州徳川家ゆかりの日本庭園で、結婚式場「葵(あおい)庭園」(和歌山市谷町38)を2022年10月8日(土)に開業します。昼夜各1組限定で式を行う完全貸し切り型(ゲストハウス型)の婚礼施設で、唯一無二の立地環境に加えプライベート感の高さも売りに、他社との差別化を図ります。

約2100平米の日本庭園は、和歌山城の南東に隣接し、同城の一角として築城とともに造られた、400年以上の歴史を誇る名庭です。その中にある旧料亭「あおい茶寮」の日本家屋を待合室に生かしながら、2階建ての披露宴会場兼チャペル棟(新館)を敷地内に新設します。

県内には、和のテイストを打ち出したゲストハウス型の式場がない点を強みに、歴史と伝統、日本の様式美に囲まれた“城下町の結婚式場”として開業します。上質さを求める20代後半から30代の大人のカップルをターゲットに据えます。

施設では、コロナ禍の対応施策として、挙式・披露宴の様子を生中継するオプションプランを用意するほか、オンライン参列者に婚礼料理を届けるサービスも提供します。



— 施設詳細 —

披露宴・チャペル棟を新築、葵の花をモチーフにしたデザインも

披露宴・チャペル棟の新館は、敷地内西側にあるマンションを取り壊し、跡地に2階建ての鉄骨造を建設します。延床面積は約782平米で、1Fに披露宴会場(約149平米)と厨房を設け、2Fをチャペル(112平米)と新郎新婦の控え室等にします。最大収容人数は披露宴会場が110人でチャペルは90人です。広々とした空間で、一般的な規模の結婚式では密にならない環境を整えます。

館内のカーペットは全体的に葵の花をモチーフにしたデザインを採用し、クラシカルな雰囲気を演出します。外壁は瓦色のシンプルな建物で、庭に溶け込むような外観です。

バンケットの庭側は全面ガラス張り、新郎新婦越しに名庭広がる

新館の玄関を抜けると、天井高 9.1 メートルの吹き抜けエントランスが広がります。開放的な空間で、列席者を迎えます。1 階の披露宴会場は、庭側を全面ガラス張り(高さ約 4m、幅約 10m)にします。

メインテーブルの新郎新婦越しに日本庭園が広がる、採光性の高い造りです。

また、庭と会場の間にデッキテラスを設け、中と外を行き来できるようにします。テラスは、新郎新婦が庭から入場するサプライズ演出に使うほか、屋外デザートビュッフェのスペースとして活用します。



チャペルは石に囲まれた空間、和歌山城を築く際の採石場だった歴史をつなぐ

新館 2 階のチャペルは、壁に石を積み上げたようなデザインです。庭の始まりは、和歌山城築城時の採石場であったことから、石に囲まれた空間にし、歴史をつなぎます。天井高は最大 6.3 メートルと高く、12 メートルのバージンロードの先、祭壇越しには滝を流します。荘厳な非日常の空間を演出します。



料亭だった木造建築をリノベーション、クラシカルな雰囲気

庭園の中央に位置する、料亭として使われていた昭和中期の木造建築(本館)は、大部分を残し、内装を「クラシカル×ロマン」をテーマにリノベーションします。

リニューアル後の本館は延床面積 312 平米です。全ての部屋が庭に面している元々の間取りを生かしながら、ドレスショップやブライダルサロン、列席者の待合ラウンジやドリンクを振る舞う BAR カウンターなどを設けます。内装は、白や木目を基調としたモダンでクラシック感のあるデザインに改装します。

椅子や机、照明などの調度品も「クラシカル×ロマン」に浸れるノスタルジックな物を選定するほか、正面玄関には葵の花を描いた金屏風を設置。随所に歴史や和を感じさせる上品な空間を作ります。



料理は地元食材を使用、“地産地消”のコースを提供

料理は地産地消にこだわります。熊野牛やマグロなど、食材豊富な地のものをふんだんに取り入れた和食と和洋折衷のコース料理を提供します。披露宴会場はキッチンを併設しています。窓ガラス越しに調理場をご覧いただけるようになっており、目でも料理を楽しませます。

コロナの状況を見ながら、宴会需要も取り込むほか、クリスマスなどのイベント時にはレストラン営業も計画しています。

披露宴を生中継、視聴者用の婚礼料理の宅配など、当社のニューノーマルを見据えたサービス

—挙式・披露宴をオンライン中継

「葵庭園」では、ビデオ会議システムを使い、挙式・披露宴の様子を生中継する動画配信サービス「WEDDING STREAM(ウエディングストリーム)」(税込 4.4 万円)を、結婚式のオプションプランとして販売します。撮影は、専属のプロカメラマンが、移動性や操作性の高い多機能端末「iPad」を使い行います。入場シーンやチャペルでの挙式、ケーキカットなど、館内の婚礼演出はカメラ(端末)を移動しながら、新郎新婦の臨場感あふれる映像を生配信します。

費用は、カメラマン 1 人が撮影・配信をする 1 プラン(税込 4.4 万円)のみのシンプルかつ低価格な商品設計です。披露宴の記録映像をご注文の方には、同 2.2 万円の特価で提供します。



—オンライン参列者に弁当を届けるサービス

オンラインから結婚式に参加する方に向けて、婚礼料理(税込 10,800 円/1 人)を宅配するサービスも用意します。弁当は、当社が広島で運営する料亭「三瀧荘(みたきそう)」が監修。当社のおせち料理を長年、販売してきたお重のノウハウを生かし、味はもちろん見た目に華やかなものを提供します。

料理[※]は、車エビやタラバガニ、ローストビーフ、鯛の赤飯など 16 品を詰め合わせた内容で、紅白をあしらった豊かな彩りが、新郎新婦の門出を祝います。結婚式当日に、北海道、沖縄、離島を除く各指定の場所にチルド(冷蔵)で届けます。

※会場の婚礼料理と異なり、地元食材を中心に使用するわけではありません

重箱に詰めた見た目に豪華なお弁当で、「オンライン参列者」のお祝い気分を盛り上げます。



<ご参考資料> コロナ禍の低迷から脱却、“新たな結婚式のスタイル”が定着

コロナ禍で大打撃を受けたブライダル市場が復調傾向にあります。経済産業省の「特定サービス産業動態統計調査」のデータを元に算出したところ、結婚式場業の 2020 年の月平均売上高は前年比 72%減の 78 億円まで落ち込んだものの、2021 年の同売上高は前年比 95%増の約 153 億円まで回復、2022 年も現時点(1-6 月)で前年比 9%増となる約 166 億円に伸長しています。結婚式場業に特化した「新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」(公益社団法人日本ブライダル文化振興協会)が策定され、コロナ禍での新たな結婚式スタイルが定着しています。

施設概要

施設名	葵庭園	開業日	2022年10月8日(土)
住所	和歌山県和歌山市谷町 38		
交通	和歌山駅から車で10分、駅から送迎バスを用意		
営業時間	平日／11:00～19:00 土日祝日／10:00～20:00、 定休日／祝日を除く第2第4火曜・毎週水曜定休		
面積	敷地面積: 2107.61 m ² (637.5 坪)	建築面積: 745.19 m ² (225.4 坪)	
	延床面積: 1151.23 m ² (348.2 坪)	新館バンケット(1F): 149.19 m ² (45.1 坪)	
	新館チャペル(2F): 112.38 m ² (33.9 坪)		
収容人数	バンケット: 着席 110 人	チャペル: 着席 90 人	
駐車場	40 台(近隣)	構造	本館:木造、新館:鉄骨造
デザイン	窪田建築都市研究所	電話	073-435-5580
HP	https://produce.novarese.jp/aoi-teien/		
賃借契約	建物を所有する(株)あおいから賃借し、営業します。賃借期間は15年です。		

ノバレーゼ運営店舗数

国内店舗数			海外
婚礼施設運営	ドレスショップ	レストラン	フォトウエディングとスパ運営事業
34 施設※	23 店舗	7 店舗	1 店舗

※今後開業を控える沖縄県と宮崎県の施設を含みます

本件に関するお問い合わせ先

(株)ノバレーゼ 広報担当:松井

TEL.03-5524-2299

E-mail: t-matsui@novarese.co.jp

本資料に使用している画像について

下記 URL にアップロードしています。必要に応じてお使いくださいませ

<https://bit.ly/3UOPmN4>